

## 2025 年度ゼミ（演習 3A／演習 3B）要覧

担当者名	熊倉 正修
演習テーマ	「働くこと」を考える
内容と 卒業論文の 指導方針	卒業研究と卒業論文の作成指導 卒業論文のテーマは限定しないが、客観的な分析を重視する。そのため、演習 2A から行っているデータ分析の実習を継続する。
メール・アドレス	kumakura@k.mejigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	メールによる予約制
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 早期にテーマを定め、時間をかけて卒業論文を執筆する。</li> <li>• 過去の卒業論文を読み、良い論文の要件を理解する。</li> <li>• 履修者間の添削やフィードバックを重視する。</li> </ul>
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 10 年後に読み返して赤面することのない卒業論文を執筆する。</li> <li>• 直感ではなく客観的な分析にもとづいて社会を観察できるようになる。</li> <li>• 自分で時間を管理し、締め切りまでに十分な成果を得る。ひとたび社会に出ると、これが最も重要な能力となる。</li> </ul>
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 卒業論文のテーマの設定</li> <li>• データ分析の演習</li> <li>• 過去の卒業論文の輪読・分析</li> <li>• 文献調査（＋必要に応じて実地調査や統計分析）</li> <li>• 中間報告</li> <li>• 初稿の提出とフィードバック</li> <li>• 改稿</li> <li>• 完成論文の提出とプレゼンテーション</li> </ul>
予習	甘い見通しを持たず、自分の意志で卒業研究を進めること
復習	同上
授業に関する 注意事項	同上
教科書	三土修平（2004）『ミニマムエッセンス・統計学』日本評論社など
参考書	個別に指示する。
成績評価の基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 統計分析等の課題（30%）</li> <li>• 自分の卒業論文に対する取り組み（40%）</li> <li>• 他の履修者の卒業論文への貢献（30%）</li> </ul> （注）完成した卒論の評価は 4004「卒業論文」で行う。
関連 URL	
認定留学期間中の 遠隔指導	可 / 否 / その他（演習 2B からの継続履修者・留学出発前に相談して許可を得た者のみ対応する。）
備考	演習 3A からの履修を希望する者は、 1. 演習 2B までに執筆したレポート等を提出し、 2. 事前に研究室を訪ねて相談すること。